

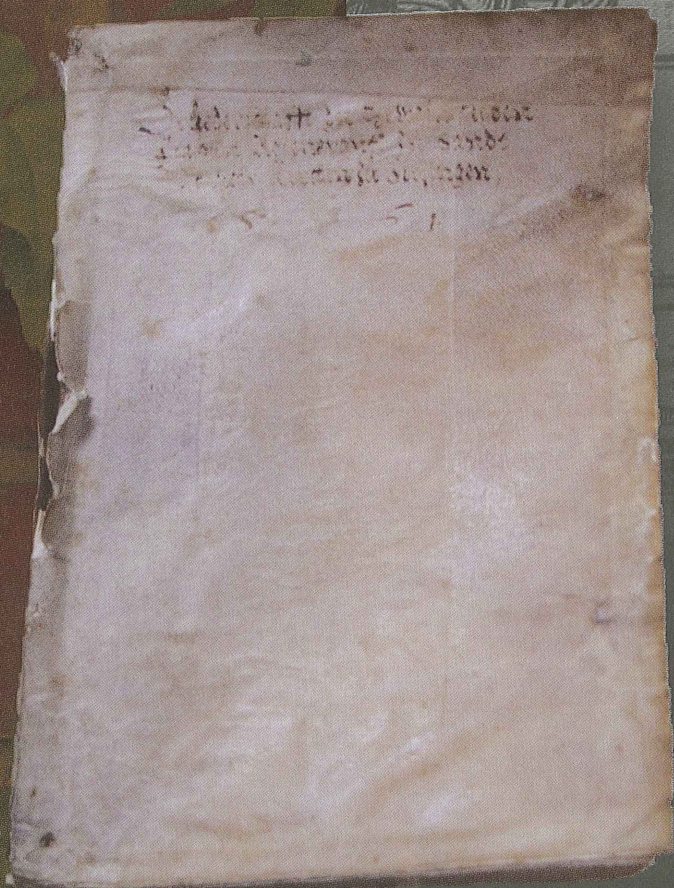
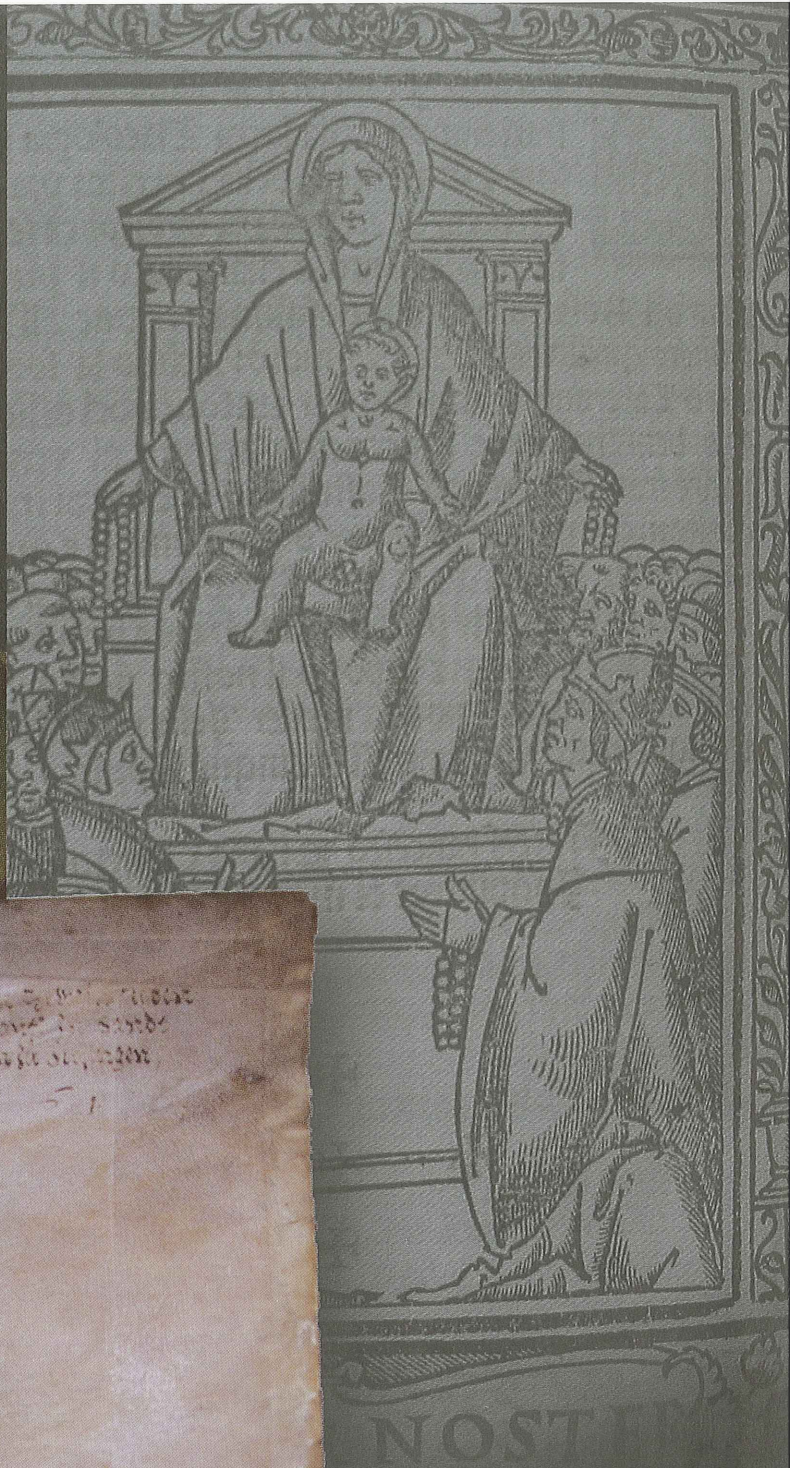
SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

# News

西南学院大学博物館ニュース

Volume **22** 2015.3

西南学院大学



ロザリオ祈祷書  
[西南学院大学博物館所蔵]

## 特集 広く使われた祈りのマニュアル ロザリオ祈祷書

ヴォーリス建築を求めて(Ⅺ) 関西学院大学 時計台(旧図書館・現博物館)

特別展紹介 西南学院創立100周年記念学院史企画展Ⅱ  
「西南学院を支えた宣教師とキリスト者たち」

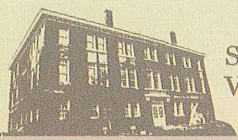
所蔵品紹介 ロザリオ祈祷書

大学博物館紹介(21) 國學院大學博物館

SEINAN GAKUIN

1920





SEINAN GAKUIN  
1920

ヴォーリス建築を求めて XI

## 関西学院大学 時計台(旧図書館・現博物館)

関西学院大学のキャンパスは、西宮市上ヶ原への移転にあたってヴォーリス建築事務所により新たに計画され、昭和4(1929)年に竣工しました。建物の設計だけでなく、キャンパス全体の構成までがヴォーリスによって手がけられています。今回紹介する時計台は、移転に際して2階建ての図書館として設計されました。キャンパス主要部の中央にあるこの時計台の前面は中心的な芝生広場になっています。それを取り巻くようにして、白壁と赤瓦の屋根が特徴的なパニッシュ・ミッション様式の建築で統一された校舎、寄宿舎および住宅地により構成されています。デザインの統一性と配置計画が特徴的な、ヴォーリス事務所の代表作品です。図書館として愛された時計台は、学院の創立125周年を記念して2014年に博物館として新たに開館されました。現在も関西学院大学のシンボルなのです。

学芸調査員 吉岡 香澄



写真提供元 / 関西学院大学

### 【大学博物館紹介②】

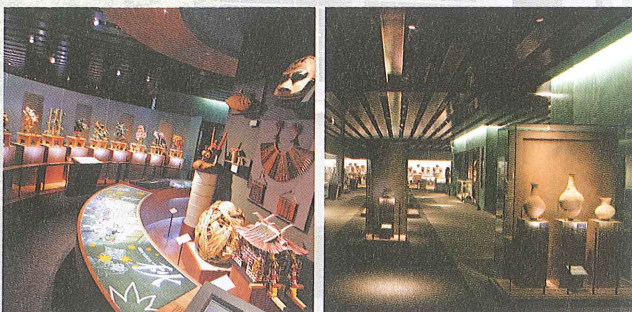
## 國學院大學博物館

平成25年より現在の名称に変更された國學院大學博物館は、考古学資料館、神学資料館の両館統合の流れを汲む豊富で貴重な学術資料と、校史資料を有しています。常設では考古「祭祀遺跡にみるモノと心」、神道「神社祭祀に見るモノと心」、校史「國學院の学術資産に見るモノと心」の3つの展示室が設けられており、神道や日本文化のより深い理解への橋渡しとして、その役割を担っています。また、平成25年度に当館でも開催された、大学博物館共同企画シリーズⅢ・学内GP成果展「日本信仰の源流とキリスト教」を通じて、西南学院大学のキリスト教、國學院大學の神道という、宗教を建学の精神とする大学博物館の



連携の重要性を認識した両館は翌年度、研究協力に関する協定を締結することとなりました。キリスト教と神道というそれぞれ異なる宗教を母体としながらも、この日本の地で築き上げてきたものを分かち合い、両館共に大学博物館としての使命を全うしていけたらと考えております。

学芸調査員 山尾 彩香



開館時間 / 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

休館日 / 日・祭日(講義のある日は除く)

入館料 / 無料

お問合せ / 〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目10番28号



# ロザリオ祈祷書

イタリア／1556年  
広く使われた祈りのマニュアル



ロザリオの祈祷は、数珠を繰り返しながら祈りを唱え、聖母マリアやイエスの生涯について瞑想を行うものです。15世紀後半以降、ヨーロッパで広まり、日本にも伝えられました。

本資料はロザリオの祈祷の書で、いわば祈りの言葉が書かれた手引書です。祈祷書には聖母マリアとイエスの受難の物語が描かれた挿絵があり、瞑想の助けとなるものです。

また、挿絵のなかには、イエスを抱いた聖母マリアがロザリオをひとびとに手渡す場面もあります。作者はヴェネツィアのドメニコ修道士として活動したアルベルト・ダ・カステッロです。1521年に刊行された後、16世紀だけでも15刷を重ね、大変な人気を博しました。その人気は、ひとびとにとって日々の祈りが重要であったことをうかがわせます。

学芸研究員 内島 美奈子

## 学芸員の眼 — 資料の貸し借り —

特別展を開催するにあたって、他館から資料を借用する場合があります。その際には借用から返却まで責任をもって行わなければなりません。まず借用時には、学芸員の立会いのもとで調書を取りながら資料の状態を入念にチェックします。その後資料を梱包し、資料運搬の専用車で持ち帰ります。運搬中には、資料の安全性が保たれているかどうかにも気をつけなければいけません。

資料の安全を保つための配慮は、借用先の信頼を得るうえでとても重要なものです。

多彩な特別展を行っていくうえで他館の協力は不可欠なため、資料を預けてもよいと信頼を得ることは、学芸員としての基本だと思えます。

学芸研究員 内島 美奈子



資料の梱包を見守る様子

資料借用のため調書を取る様子



西南学院創立100周年記念学院史企画展Ⅱ

# 西南学院を支えた 宣教師とキリスト者たち

会期／2015年 4月1日(水)～5月29日(金)

時間／午前10時～午後6時(入館は午後5時半まで)※日曜休館

会場／西南学院大学博物館特別展示室

入場料／無料

主催／西南学院百年史編纂委員会

## ◇開催概要

アメリカ南部バプテスト連盟によって、1916(大正5)年に福岡市大名町に設立された西南学院は、間もなく創立100周年を迎えます。この間、創立者C.K.ドージャーをはじめ、南部バプテスト外国伝道局(ミッション・ボード)から派遣された多くの宣教師や、日本人のキリスト者たちによって建学の精神が守られ、育まれてきました。そのキリスト教精神に基づいた教育は現在にも受け継がれており、学院を支えた人々の歴史を辿ることは、100周年を迎える西南学院の歴史を辿ることであります。

この企画展では、現在の西南学院の形成に貢献した多くの先達の中から、C.K.ドージャー、G.W.ポールデン、波多野培根、水町義夫、E.B.ドージャー、M.B.ドージャー、W.M.ギャロット、A.グレーヴスに焦点をあて、西南学院がこれまで歩んできた歴史を振り返ります。

## ◇展示構成

## Ⅰ 建学の精神と 日曜日問題

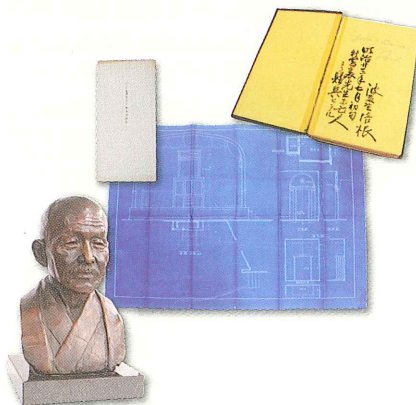
西南学院は、1916(大正5)年に男子中学校(旧制)として創立され、1921(大正10)年に最初の卒業生を輩出するのに合わせて高等学部を開設しました。当初は順調な滑り出しに見えた学院でしたが、キリスト教になじみの薄かった日本の学生とキリスト教の信仰に忠実に従うドージャー院長との間に、主日(日曜日)を巡って意見の対立が生じ、「日曜日問題」が起りました。

## Ⅱ アジア・太平洋戦争と 学院のキリスト者

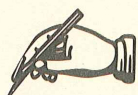
1930年代から、日本は徐々に世界大戦への道を進んでいきます。キリスト教は軍国主義の批判の対象となり、ミッションスクールである西南学院は多くの困難と向き合うこととなりました。この時代、波多野培根と水町義夫は、キリスト教の排斥運動や三校統合問題など度重なる窮地を乗り越えていきました。

## Ⅲ 西南学院の発展と キリスト教教育

戦前から西南学院に奉職していた宣教師たちの多くは、戦後すぐにミッションボードから派遣され、再来日を果たし、日本が敗戦による喪失感から立ち直るため、西南学院とともに歩み、支える役割を担いました。戦後、1947(昭和22)年に新学生による中学校を開設し、その後、高等学校や大学も後に続きます。大学は、積極的にキリスト教教育や外国語教育を行い、現在の西南学院の発展の基礎を形作ることに貢献しました。














## 博物館通信

2014年11月から2015年2月までにおこなった博物館活動や出来事のなかからいくつかを紹介をします。

-  11月29日(土) 國學院大學博物館にて協定調印式を執り行いました。
-  11月29日(土) 産官学連携・原城図書館企画展「歴史の中の島原・天草一揆」を原城図書館にて展示を開始しました。3月26日(木)まで開催。
-  12月 6日(土) 第16回特別展「ジュダイカ・コレクションⅢ 祈りの継承—ユダヤの信仰と美術—」関連公開講演会を開催しました。
-  12月25日(木) 本学博物館の安高啓明学芸員が『日中韓博物館事情—地域博物館と大学博物館—』(共編者高倉洋彰氏、雄山閣)を刊行しました。
-  1月24日(土) 企画展「古写真でみる西南学院Ⅳ」を本学博物館にて展示を開始しました。5月29日(金)まで開催。
-  2月13日(金) 西南学院大学×國學院大學・大学博物館連携常設事業・相互貸借特集展示「うみやまの幸—縄文の九州—」を本学博物館にて展示を開始しました。4月24日(金)まで開催。
-  2月14日(土) 産官学連携・天草キリタン館春季特別展「西南学院大学博物館コレクション展I」を天草市立天草キリタン館にて展示を開始しました。3月22日(日)まで開催。



國學院大學博物館との協定調印式



特別展関連公開講演会



企画展「古写真でみる西南学院Ⅳ」



原城図書館企画展



「西南学院大学博物館コレクション展I」  
(天草キリタン館)

### 企画展

## 「古写真でみる西南学院Ⅳ」

会期 / 2015年1月24日(土)～5月29日(金)  
会場 / 西南学院大学博物館  
1階廊下・2階講堂

西南学院とアメリカ南部パブリックテスト連盟は福岡県の認可を受け、1916年、「私立西南学院(旧制)」として誕生しました。創立当初、西南学院は福岡市大名町に



校舎がありました。本展では、西南学院の旧本館(現大学博物館)が竣工した1921年からその物語が始まります。2004～2005年に、資材を再利用しながら補強改修工事が行われたものの、その姿は改修前とほぼ同じ姿であることがわかります。また、太平洋戦争以前の学院の姿勢を示す写真も展示しており、本学の変遷を伺える写真展となっています。

### 國學院大學博物館サテライト展示ブース

## 相互貸借特集展示I「うみやまの幸—縄文の九州—」

会期 / 2015年2月14日(土)～4月24日(金)  
会場 / 西南学院大学博物館1階  
入館料 / 無料

西南学院大学博物館は、2014年7月より國學院大學博物館と協定を結んでいます。当館では、協定にもとづいて、定期的に國學院大學博物館の所蔵資料を紹介していく予定です。今回設置した展示ブースでは、縄文時代の九州における生業関係資料を貸借し、紹介しています。土器だけではなく、動物の骨や貝殻(動物遺存体)なども展示しており、当時の狩猟生活を身近に感じ取ることができる構成となっています。当館とは異なった視点から収集・展示された資料の数々を、この機会にぜひご覧ください。



### 2015年度春季特別展・大学博物館共同企画Ⅴ

「東日本大震災と文化遺産—被災と復旧、そして文化創造へ—」in 西南学院大学博物館  
「キリスト教の源流と東方伝播—受容と禁教、そして解禁—」in 東北学院大学博物館  
主催 / 西南学院大学博物館&東北学院大学博物館

会期 / 6月12日(金)～8月6日(木)(予定)  
【東北学院大学博物館会場】  
6月12日(金)～8月4日(火)(予定)  
【西南学院大学博物館会場】

同じキリスト教系の大学が所蔵する資料を相互に交換した展覧会を開催します。





## 行事予定

2015(平成27)年

### 【特別展／企画展】

1月24日(土)～5月29日(金)

古写真でみる西南学院Ⅳ

[場所]西南学院大学博物館1階廊下前・2階講堂

2月14日(土)～3月22日(日)

天草キリシタン館春季特別展 「西南学院大学博物館コレクション展I」

[場所]天草市立天草キリシタン館 1階多目的室

2月14日(土)～4月24日(金)

西南学院大学博物館×國學院大學博物館

2014年度大学博物館連携常設事業

相互貸借特集展示I 「うみやまの幸—縄文の九州—」

[場所]西南学院大学博物館1階

6月12日(金)～8月4日(火)

大学博物館共同企画展V 「仙台の宣教師館と東北の天然スレート産業」

[場所]西南学院大学博物館1階

### 【講演会】

3月14日(土) 13:00～14:30

西南学院大学博物館特別展関連公開講演会

[場所]天草市立文化交流館2階

[講師]安高啓明氏(本学博物館学芸員)

「天草キリシタン史と禁教政策」

### 【せいなんこどもワークショップ2014】

3月14日(土) 10:00～12:00

「しおりを作ってみよう!」

[場所]西南学院大学博物館

### 【せいなんおでかけワークショップ】

3月15日(日) 10:00～12:00

「天草四郎をエコ・デコレーション in 天草キリシタン館」

[場所]天草市立文化交流館2階

その他、幅広いニーズに合わせて団体見学会等も実施しております。  
なお、予定は変更することもございますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

## 西南学院大学博物館

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号

TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室

URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

### ●開館時間のご案内

開館時間 / 10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日 / 毎週日曜日、夏期休暇[8/10～8/16]

キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28-1/5]

入館料 / 無料



## 来館者掲示板

### 【特別展アンケートより】

常設展でキリスト教を、特別展でユダヤ教を学び、トータルで聖書の世界を体感できた。

(2014/11/28 男性 20代)

講演会も良かったのですが、展示もどれも素晴らしいものばかりで、大変良かったと思います。

(2014/12/6 女性 50代)

祭具等すべて美しいと思いました。

(2014/12/15女性 60代)

### 【来館者ノートより】

魔境のことを聞いて来ましたが、特別展含め、すべてすばらしく、感動しました。また来ます。

(2014/11/12)

関谷先生のあつめられた収集の品々を拝見しました。年々充実してゆく博物館の展示をいつも楽しみにしています。

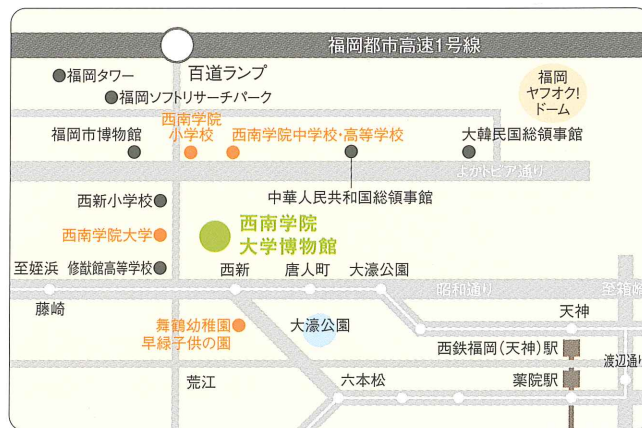
(2014/12/11)

今回の来館者掲示板は、1月17日(土)迄開催の「ジュダイカ・コレクションⅢ『祈りの継承』—ユダヤの信仰と美術—」のアンケートと来館者ノートで頂いたコメントご紹介いたしました。本展は、キリスト教の母胎であるユダヤ教を、その信仰のかたちとしての祭具を通して提示するものでした。

常設展ではキリスト教に、特別展ではユダヤ教に焦点が当てられ、相対的な視点で両者をみることが出来たというご感想を頂きました。宗教の一側面だけでなく、様々な視点で提示することは、西南学院大学博物館の使命の1つでもあると思います。これからも、皆さまの温かいお声を励みにして、運営を行ってまいります。

学芸調査員 出口 智佳子

## アクセスマップ ACCESS MAP



福岡空港 → 西新駅下車...約17分  
博多駅 → 西新駅下車...約12分  
天神 → 西新駅下車...約8分  
※地下鉄西新駅(③番出口)から徒歩5分



博多駅バスセンター → 修猷館前...約35分  
天神 → 修猷館前...約20分  
※修猷館前バス停から徒歩5分



福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約25分  
博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約20分  
天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約15分